

令和5年度秋期 プロジェクトマネージャ 午後I試験 解答速報

(株) アイテック IT人材教育研究部 2023.10.11 発表

問1 価値の共創を目指すプロジェクトチームのマネジメント

【解答例】

[設問1]

- (1) 新たな体験価値を迅速に創出するXプロジェクトの目的に沿うから
- (2) 自分の考えや気持ちをメンバーの誰に対しても安心して発言できる状態
- (3) プロジェクトの進め方について自分なりの意見をもっている状況
- (4) メンバー全員が自発的にチャレンジする必要があるから

[設問2]

- (1) 提供する体験価値を、メンバーが理解し納得してメンバー間で共有する狙い
- (2) 各メンバーが失敗を恐れず、出資元各社の期待を意識せずに活動できる環境

[設問3]

知見や体験をメンバー全員で共有して価値の共創力を高める狙い

問2 システム開発プロジェクトにおけるイコールパートナーシップ

【解答例】

[設問1]

予測型の開発アプローチに沿ってプロジェクトを計画・実行するという課題

[設問2]

顧客との請負契約に基づいた、納期までの完成責任を果たせない状況

[設問3]

S社とA社が対等な共創関係を目指すこと

[設問4]

- (1) 発注者の優越的な立場が受託者に悪影響を及ぼすこと
- (2) PMやリーダーが本来注力すべき領域に集中できる。
- (3) a: OODA b: 回復力 c: 成果完成 d: インセンティブ・フィー
- (4) 顧客との契約変更を受けて行う一連の作業が抑えられる。

問3 化学品製造業における予兆検知システム

【解答例】

[設問 1]

L 部長にベテラン技術者を説得してもらい、システム化の検討を進める狙い

[設問 2]

(1) 目的の達成に向けて技術者全員の協力を得る狙い

【別解】 技術者の不満が解消されることを理解してもらう狙い

(2) 予兆検知システムへの Y 社のアルゴリズムの適用支援

(3) ベテラン技術者：プラントの特性を把握した交換・修理のノウハウを定義する役割

中堅技術者：早い段階から予兆検知システムの仕様を理解してもらう役割

[設問 3]

(1) 要件定義フェーズ：仮説検証を繰り返し探索的に進める。

開発フェーズ：スコープを基に計画し計画どおりに実行する。

(2) プラントの特性を理解した上で修理・交換をできるようにする狙い

itec